



和田の世帯数・人口

世帯数	1,448 戸
人口	4,193 人
男	2,034 人
女	2,159 人

(平成 29.1.1 現在)

新年にあたって



和田地区町内公民館長会
会長 古畑 昌一

明けましておめでとうございませう。地区の皆様におかれましては、良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、各地で大きな地震が多発いたしました。そして、先月の糸魚川での大火災はまだまだ記憶に新しいと思います。

また、昨年の 9 月の長雨は、当地区の農作物にも大きな影響を及ぼし、更に和田地区市民大運動会も、この長雨の影響で中止を余儀なくされました。

当地区は昔、天領地であったように災害が少なく、作物が安定して収穫できる住みやすい所です。しかしながら、今後大地震発生の予測がされている活断層が近くにあり、また、異常な天候はこれからの発生すると思われ、相応の対応が必要だとも思っております。

一方、少子高齢化は全国的な傾向で、この和田地区も例外ではありません。

「和田に住んでみたい。」
「和田に住んでみたい。」
「和田に住んでいて良かった。」
という方が更に増えるようにしていく必要があります。

また、居心地が良く、変化の少ない良い側面は、ともすれば意識から遠く傾向がありますので、普段から地区の良さを感じていただく取り組みが必要ではと感じ始めています。

大災害発生などで困った時にはすぐ助け合えるように、更に魅力のある地区にしていきたいと思います。皆様のご協力をいただきながら、「公民館活動」及び「地域づくり活動」に取り組んでまいります。終わりに、皆様のご健勝とご多幸を祈念し挨拶いたします。

ご成人おめでとう！

新たな年を迎えて



殿
中野 穂風

私は、平成 29 年の 1 月 8 日に成人式を迎えました。自分が成人式を迎える年になったこと、それと同時に、今年からはもう社会人になるということで、とても不思議な気持ちでいっぱいです。

社会人として一人前になるにはまだ時間がかかると思いますが、周りから頼りにされる必要とされる社会人になれるよう、4 月から自信を持つ仕事に打ち込みたいです。あと少しの学生生活も、悔いの残らないように、最後まで思いっきり楽しみたいです。

柔道整復師を目指して



西原 雛

私は、中・高とバスケットボール部に所属しました。その活動中に何度もケガの発生現場を見て（何かできることがあるといいな。）と思ったのが初めです。それから、今目指している「柔道整復師」という資格を見つけました。資格取得のために長野市の信州医療福祉専門学校に入学しました。

将来は、'使える' 柔道整復師になりたいです。'使える' というのは、ちゃんとした知識を身に付けていて、その知識を活用して治療できる人のことだと思っています。当たり前に聞こえるかもしれませんが、これが当たり前ではありません。

医療機器が発達してきている中でも人にしかできないことがあります。それをしっかりと見極めて、患者さんを治療していただける柔道整復師になりたいです。

しめ縄作りに参加して

今年は仕事の中でしめ縄を作る必要がありましたので、由来や作り方、飾り等を学びたいと思いい参加させていただきました。



12・17(土)
「しめ縄作り教室」で教わる皆さん

わらのすぐり方やごぼうしめを教えたいただき、かわいらしいカメラで指導していただきました。

教えてくださる方が地域にいらつしやることは大変ありがたいことです。これを機会に私も毎年参加し、今度はしめ縄作りを伝えたいと思いたしました。

南和田
矢野 操



わら細工のカメ



和田地区新年祝賀会

「むささび緑の芝刈り」松本市景観賞の奨励賞受賞 PTAの皆さん

松本市では、景観に対する市民意識の高揚と、良好な景観の形成に向けたまちづくりの活動の推進を図ることを目的に、平成元年から景観賞の表彰をしています。昨年度の「鎮守の森ホタル公園」に続き、「きれいな緑の芝を守る芝刈り小学校PTAの皆さん」が奨励賞を受賞しました。

【講評】
学校名の芝にちなんだ開校当初からの取り組みが、活動を支える人の輪を広げ、世代を超えて引き継がれていることを評価しました。PTAの皆さんだけでなく、児童や先生方も含めた学校ぐるみで取り組み、さらに外部事業者からの技術的な指導をおおぐなど、芝生を守っていくための体制づくりは、思いの強さをあらわしているのですよ。



小学校の周囲には田園風景が広がり、遠くにはアルプスの山並みが映える緑豊かな環境の中、校庭で実際に児童が緑に

触れ育つ環境が整えられていることは、松本の景観への愛着を育むという点でも意味のある活動であると考えます。

今後、芝生が校庭の中央部分だけでなく、校庭の遊具まわりや敷地全体へ広がり、児童が学校で豊かに過ごす支えとなり、それが次世代へ引き継がれていくことを願っています。

受賞を受け、PTA会長の吉澤剛さん(西原)は、「以前から、PTAの皆様が苦勞されてきたことが認められてよかった。これからも大事に世話をしていきたい。」と話していました。

町会紹介① 蘇我町会

明治7年に、旧和田村8か村が合併し「和田村」が成立しました。蘇我村は、明治5年までは荒井(新しい堰の意)村として呼ばれていました。



蘇我公民館

蘇我町会は、平成29年1月1日現在、世帯数151戸、人口463人(男220人、女243人)で、和田では中規模の町会です。当町会では毎年4月に定期総会を開き、事業報告・決算の承認、新年度の事業計画・予算案の審議・役員承認などを行い、町会運営の基礎を話し合っています。毎月第4日曜日には常会が開かれ、町会の情報交換・集金などを行っています。近隣の絆を深める機会にもなっています。

1月に、新年会を3常会が公民館で、他の3常会が温泉施設などに出かけ、日帰りで実施するほか、6月に町会スポーツ大会と焼き肉会、8月に夏祭りなどを行い、みんなで楽しい町づくりをしています。

蘇我町会が誇れるものに、和田神社例大祭に奉納される舞台(山車)があります。地域を挙げて盛り上がったお祭りも時代の流れに逆らえず、青年団の減少もあって、年々迫力がなくなりつつあります。このままでは終われないと、一昨年奮起一番祭り保存会を立ち上げました。青年団OBを中核に盛り上げを期待し、皆で町会の宝を守り、後世に残したいと考えています。



和田神社祭典記念

お知らせ

「和田ふるさとマップ」の頒布

「和田ふるさとマップ」は、平成17年に初版が、平成23年に、その改訂版が発行されました。この度それらを基に再改訂版を発行し、各家庭に1部ずつ配付することにしました。改訂するにあたっては、主に次の2点について配慮しました。

- ①地勢や道路など実状にあつた地図にすること
- ②文化財だけでなく、公共施設の写真や説明文も載せること

マップは折りたたんでありますが、片面印刷ですので、広げて居間の壁などに貼っていただき、公共施設の情報を日常生活で有効に活用したり、文化財への興味・関心を深め、次世代に伝えるきっかけにしたりして利用していただくこともよいかと思えます。

なお、製作費は、経費も含め総額でおよそ22万円ですが、この費用は、地域づくり推進交付金(市費)から20万円、学校サポート事業(市費)から1万円、公民館運営費(地区費)から1万円をあてる予定です。

編集後記

あけましておめでとうございませう。

今年もイベント、行事の記事や写真等、たくさん載せていきます。ご意見がありましたら聞かせていただき、良い紙面づくりに役立たせていきます。

昨年よりノロウイルスが猛威をふるっています。うがい手洗いを心がけましょう。まだまだ厳しい寒さが続きます。どうぞご自愛ください。本年もよろしくお祈りします。

田中・大和・斉藤